

岩手・木質バイオマス研究会
「第 11 回定例セミナー」



参加無料

かつて薪はもっとも身近なエネルギー源でしたが、戦後は化石燃料への転換が進みました。

近年地球温暖化防止や里山資源有効活用の観点から薪が再評価され、その人気が高まりつつあります。

岩手県紫波町は 2000 年代にはいり木質バイオマスの地産地消を進めてきました。

このたび紫波町内で町民のみなさんがどれくらい薪を利用しているか、また新規に薪を利用したい人がどれくらいいるのかを調査し、興味深い結果が得られました。

町内 400 世帯を対象に 2017 年 10 月に行ったアンケート調査結果の報告とそれに対する考察です。

【テーマ】

紫波町内における薪利用者の動向

◆2017 年アンケート調査の報告

泉桂子氏（岩手県立大学総合政策学部）

◆木質バイオマスの地産地消に果たす 紫波町農林公社の役割

大塚生美氏（森林総合研究所東北支所）



4月13日(金)

18:30~20:00

岩手県立大学「アイーナキャンパス」
アイーナ7F 学習室1

申込：会場の都合により先着 40 名限定です。
できるだけメールでのお申し込みをお願いいたします。

主催・申込先：岩手・木質バイオマス研究会

E-Mail:wbi@xg.main.jp FAX:019-635-8272

